

2018年8月31日

小田急電鉄株式会社
秦野市

丹沢の玄関口、観光拠点として魅力的な駅空間を創出！
2019年2月、渋沢駅コンコース壁面をリニューアル
～連携協定に基づき、駅の機能向上および駅を中心としたまちづくりを推進します～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、秦野市（市長：高橋 昌和）と連携し、2018年10月から、小田急小田原線 渋沢駅のコンコース壁面のリニューアル工事を実施します。竣工は2019年2月を予定しています。

渋沢駅は、丹沢の玄関口として登山客をはじめとする多くの観光客のご利用があります。また、秦野市でも、渋沢駅を観光の拠点に位置付け、さまざまな観光施策を打ち出しています。

こうしたなか、今回のリニューアルでは、小田急電鉄が同駅コンコースを丹沢の玄関口にふさわしいデザインとするため、改札上部に秦野産の木材、壁面には芳香作用のある木製のシートを使用して、地域資源のPRとぬくもりのある駅空間を創出します。また、秦野市は、駅構内に開設している市民が利用する秦野市役所連絡所やコミュニティスペースの外装をリニューアルするほか、秦野産の木材を使用した案内看板、ベンチを新たに設置して、駅と調和した便利でやすらぎを感じる施設に生まれ変わります。

小田急電鉄と秦野市は、2017年8月、「秦野市と小田急電鉄株式会社との小田急小田原線沿線まちづくりの推進に関する連携協定」を締結し、駅の機能向上および駅を中心としたまちづくりや、地域の活性化および地域の魅力発信に取り組んでいます。

両者は今後も連携し、「快適でゆたかなまちづくり」の実現を目指してまいります。



現在の渋沢駅コンコース

リニューアル後の渋沢駅コンコース
赤枠内に秦野産材の木材を使用（予定）
（イメージ）

渋沢駅のコンコース壁面リニューアル工事の概要は下記のとおりです。

記

- 1 場 所 小田急小田原線 渋沢駅
- 2 所 在 地 神奈川県秦野市曲松 1-1-1
- 3 内 容 ・壁面リニューアル
改札コンコース壁面装飾（木質系シート、秦野産木材の木板張り）
・市連絡所、コミュニティスペースリニューアル
壁面装飾（木質系シート）、秦野産木材の案内看板およびベンチ設置
- 4 着 工 2018年10月（予定）
- 5 竣 工 2019年2月（予定）
- 6 平均乗降人員 28,340人／日（2017年度）

以 上